

岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 事業計画書

※各項目はできるだけ簡潔かつ具体的に記載してください。

※枠の幅は自由に変更してください。なお、全体で A4 サイズ 4 ページ以内に収まるように作成してください。

実施主体	団体名	特定非営利活動法人 ENNOVA OKAYAMA
	担当者氏名	石井範子
	連絡先	住所 〒700-0814 岡山市北区天神町 10 番 16 号 電話 070-5677-5407 Eメール info@ennova.jp
	合同提案団体 (あれば)	
岡山市の協働課等	課名等 担当者氏名 (連絡先)	課名等 庭園都市推進課 担当者 宮内 和志 (086-803-1395)
調査事業	名称	石山公園パークマネジメント運用開始に向けた「コンシェルジュ」ニーズ調査
	調査の動機 または仮説 (なぜ)	<p>石山公園は、周辺エリアへの観光の玄関口であるとともに、地域の方が日常的に憩い、また、イベント開催の場として活用するなど、「観光」と「地域」というふたつの大きな特色を持ち合わせている。しかし現時点では、観光客が訪れた際におもてなしが出来るような「観光」の視点に立った機能が無く、またイベントを実施する際の使い辛さなども指摘されている。</p> <p>観光客に対しては、周辺エリアの観光・文化施設や店舗などへの回遊促進、イベント実施者に対しては、イベント利用時に場を上手に活用するためのノウハウや知識の提供、地域住民に対しては、愛着を持って一緒に公園と共に育っていくための提案や情報発信など、場を利用する方々それぞれのニーズを満ち、石山公園の特色を反映したおもてなしの機能をパークマネジメントの中に取り入れることで、そういった課題を解消できると考えられる。</p> <p>そこで、専門的なおもてなしの機能(仕組み、サービス、人材など)を「コンシェルジュ」と定義し、専門性やノウハウを持った人材育成と、そのための仕組みづくりをプログラム化してパークマネジメントの特色のひとつとして加えることで、場が新しく生まれ変わることとあわせ、運営側・利用者双方にとっても、場をより良く活用できる新しい公園運営に繋がるのではないかと考える。</p>
	調査の対象 (なにを) 調査の数量 (どれだけ)	<p>①観光客 観光案内などのおもてなしのニーズ / 約 450～600 件</p> <p>②イベント実施者(団体) 公園のイベント活用におけるニーズ / 5 団体 〔 MAEMU 企画、ストライプインターナショナル、ビザビ、山陽新聞事業社、おかやま観光コンベンション協会 〕</p>
調査の方法 (どのように)	<p>①観光客 調査用紙を元にした、現地でのヒアリング ※9月～11月の毎週末及び祝日(30日)2～3時間程度、1日目標 15～20 件</p> <p>②イベント実施者(団体) 調査用紙を元にした、面談でのヒアリング</p> <p>③イベント実施者、地域住民、関係団体などとの意見交換会の実施 様々な立場の関係者が同じ場に集うことで、人々を繋ぎ、ニーズや情報の共有など、より良い公園の利活用につなげるための多面的な意見交換を行う</p>	

調査事業	調査の工程 (いつ・だれが)	月	工程	担当
		6月	調査内容の打ち合わせ	石井
		7～8月	調査資料作成 イベント実施者への調査依頼	石井
		9～11月	観光客への調査 イベント実施者への調査	石井
		12月	イベント実施者、地域住民、関係団体 などとの意見交換会	石井
		1月	調査結果まとめ	石井
		2月	報告書作成・提出	石井
	結果の活用方法 (どうする)	石山公園の活用を考える検討会などへ結果をフィードバックし、パークマネジメントのしくみづくりにつなげる。		
調査後の展望 (モデル事業への提案を想定している場合は事業の内容など)	<p>平成 29 年度の調査で得たニーズを、平成 30 年度の夏までは利用が可能な石山公園の現地で、ゴールデンウィークなど観光客が多い時期に、おもてなしのサービス(コンシェルジュ)を観光客に対して実地検証し、平成 31 年秋に予定されているリニューアルと同時にパークマネジメントの運用が開始できるようにブラッシュアップさせる。</p> <p>上記を実施するため、平成 30 年度は庭園都市推進課での施策としての予算請求を目指し、施策として実施できなかった場合は、モデル事業としての提案を行います。</p>			
岡山市及び ESD・市民協働推進センターに支援してほしいこと (あれば)				

岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 収支予算書

単位(円)

提案事業名	石山公園パークマネジメント運用開始に向けた「コンシェルジュ」ニーズ調査
-------	-------------------------------------

(収入)

	費目等	金額
自己資金等	実施主体 事業費	115,000 円
	合同提案団体	0 円
	合計(a)	115,000 円
事業収入	事業収入	0 円
	合計(b)	0 円
岡山市補助金申請額(c)		460,000 円
収入合計(d) = (a)+(b)+(c)		575,000 円

(支出)

	費目	金額	内訳
経費	人件費	520,000 円	<ul style="list-style-type: none"> 観光客へのニーズ調査 (30日 × 3h × 1,000円) × 2人 = 180,000円 イベント実施者(団体)へのニーズ調査 (5団体 × 2h × 1,000円) × 1人 = 10,000円 関連作業(打合せ、依頼、調整、事務作業、資料・報告書作成など) (330h × 1,000円) × 1人 = 330,000円 ※(6~12月: 30h × 7か月 = 210h / 1~2月: 60h × 2か月 = 120h) × 1人
	旅費交通費	5,000 円	調査、その他交通費(打合せ、駐車場代など)
	消耗備品費	10,000 円	事務用品(資料印刷用紙、インク、封筒など)
	食糧費	10,000 円	意見交換会の飲食物(20名 × 500円)
	会場費	30,000 円	意見交換会会場費(3h × 10,000円)
総事業費		575,000 円	※収入合計(d)と同額

※人件費等を積算する場合は、根拠(賃金規定や過去の支払い状況を示すもの)を添付してください。

※報告書の販売等による事業収入を見込んでいる場合は「事業収入」欄に単価、部数、収入額(いずれも見込)を記入してください。